

■ 人と関わり社会性を育む生徒指導

生徒指導がめざすもの

学習に対する意欲や知識、思考力などを育む学習指導とならんで、生徒指導は人との関わりを通して社会性などを育む重要なものです。

生徒指導は、生徒一人ひとりの個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達を支え、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支え、学校生活が有意義で興味深く、充実したものになることをめざします。



生徒指導のポイント

● 生徒理解を基盤としています

多くの教職員が、日ごろ生徒たちとふれあう中で、生徒の心の状況や変化を理解しようと努めています。

● 集団での「出番」と「役割」をつくっています

中学校では、学級活動や部活動など、集団での活動を基本としています。集団生活の中に生徒一人ひとりの出番や役割を設けることで自己肯定感を高め、仲間と意見を述べ合いながら集団をよくしていく共感的な人間関係の形成に努めます。

● ルールやマナーを身に付けることを重視しています

中学校には、望ましい集団生活を営む上で必要なルールやマナーがあります。生徒たち一人ひとりが安全・安心な学校生活を送るため、ルールやマナーの大切さを実感できるよう日々の指導を行っています。

● 指導の厳しさ・温かさの両立をめざしています

生徒たちは、公平・公正な指導を願っています。「だめなものはだめ」と教える厳しさと、生徒が抱える課題を受け止める温かさの両立をめざしています。

● 大人がチームを組んで指導・支援します

中学校の教職員は、日ごろから情報共有し、チームによる指導・支援の推進を図っています。また、スクールカウンセラーなどに専門的な助言を求めることや、関係機関と連携しながら指導・支援を行うことなど、多様な関わりによるチーム支援を行っています。

中学校と一緒に子どもの成長を見守りましょう

○ 中学校での様々な活動について、子どもの話に耳を傾けてみましょう。

○ 教職員とも会話することで、指導に対する共通理解を図るとともに、子どもの多様な面を知ることができます。

○ 中学校のルールを知り、家庭でも、中学校と同じ認識で子どもに関わることが大切です。

○ 心配ごとは教職員やスクールカウンセラーに相談してみましょう。

相談する時は、電話で確認し、直接会って話をするをお勧めします。

○ 学校行事で子どもと感動を共有することは、子どもや中学校を理解することにつながります。

PTAや保護者会の活動は、共通の悩みや喜びを分かち合う場にもなります。